

「有職主婦」と「専業主婦」の特徴・傾向

	有職主婦	専業主婦
購入	<ul style="list-style-type: none"> ・食用油は大容量をまとめ買いする。 ・食用油の特性に合わせて柔軟に選択基準を変え、購入している。 ・健康オイルの使用意向が高いなど、健康意識は高い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・購入スタイル（容器容量・頻度）は分散し、各々のライフスタイルによって分かれており、一貫した共通点はない。 ・「ブランド」「価格」を一貫して重視。
家事	<ul style="list-style-type: none"> ・時間的効率を重視し、そのための情報収集は行う。調理メニューは簡単であることを理由に選ぶ割合が多く、食器洗い機の使用率が高い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・調理に対する関心が旺盛であり、調理に関する情報は収集し、取り入れ、工夫する姿勢が見受けられる。 ・掃除はこまめに行う傾向。
お惣菜購入	<ul style="list-style-type: none"> ・「おいしそう」という理由で購入するなど、お惣菜ライフをポジティブに楽しむ姿勢が見受けられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で調理できないとき、調理することを避けたいときに利用するもの、という存在。

まとめ

今回の「06キッチンにおける『油』の存在」での有職主婦と専業主婦を比較した調査を通じて、生活科学研究室では、有職主婦が増えていく今後の「食用油の使われ方」について以下のような予測をした。

- ・食用油は、価格やブランドだけでなく、油の種類・特性にポイントを置いて選択をする人が増えることから、「油」に関する情報発信が益々求められるようになる。
- ・家事には、調理後の洗浄・後片付けに一層簡便さが求められることから、食器洗い機は今後も普及していく。手洗いでは負担感が高かった食器の油汚れを、食器洗い機では簡単に洗浄できるようになることから、揚げ物・炒め物など食用油を多く使用する調理への抵抗感も軽減されるかもしれない。
- ・揚げ物惣菜を利用する人は、「時間のないときに利用する」よりも、「おいしそうだったから」などと、よりポジティブな購入動機が増え、利用する機会も多くなる。〈一方、お惣菜を利用しない人にみられる『手作り』を重視する気持ちは、今後も残り続ける。〉

今後は「価格」だけでなく「こだわり」を重視し、それぞれのニーズに合わせ食用油を選択することが増えると考えられる。また、調理・片付けが簡単になるような商品・ツールをうまく活用するなど、限られた時間で楽しんで行う家事スタイルが益々増加していくだろう。

調査概要

調査対象：全国 20-50代 既婚女性
 サンプル数：479（有職主婦：239 専業主婦：232 その他：7）
 調査方法：郵送調査
 使用データ：調査回答者の年代構成を、日本の実年代構成にあわせるために母集団拡大集計を実施。
 レポートに使用するデータは母集団拡大集計後のデータを使用。
 実施時期：2006年10月19日(木)～10月30日(月)

日清オイリオグループ株式会社

■お問合せ先
 生活科学研究室

<http://www.nisshin-oillio.com>

〒104-8285 東京都中央区新川1-23-1 TEL.03-3206-5218



古紙配合率100%再生紙を使用しています。



この報告書は、環境に配慮し、古紙配合率100%の再生紙を使用しています。またインキは、揮発性有機化合物を含まない大豆油のNon-VOCインキを使用しています。